

【広報】 まめがわ

PUBLIC RELATIONS SAMEGAWA

まめがわ
M a y
2 0 2 2 | 5



鮫川小学校入学式後の教室（1年生）

■特集

高齢者の運転免許返納を考える

■行政NAV I

投票立会人を募集しています（参議院議員通常選挙）
令和5年度鮫川村職員採用候補者試験

■ほっとニュース

鮫川小学校・中学校入学式
むし歯のない子

令和4年5月1日発行（毎月1日発行）
第817号（昭和27年9月創刊）

発行／福島県鮫川村 編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿 39番地 5



ぼく・わたしの夢 | 〔第70回〕 | 鮫川小6年生

木之内瑛斗さん

ぼくの将来の夢は、車の整備士になることです。お父さんが車の整備士をしているのですが、タイヤの交換などをすぐに終わらせ、みんなを笑顔にしている姿を見て、ぼくもそんな仕事をしたいなあと思いました。高校を卒業したら、すぐに車の整備士になる勉強を始めたいです。そして車の整備士になったらお父さんのようにたくさんの人たちを笑顔にしていきたいです。

水野心海さん

私の将来の夢は、声優になることです。アニメを見ていたときに「キャラクターの声はどうやっているのかな」と思い、調べてみました。すると、声優さんが出ている番組を見つけました。声優という仕事を知って、私もやってみたいと思いました。私は、歌を歌うことも好きなので、歌などにも挑戦する声優を目指していきたいです。

中川西愛那さん

私の夢は、オリンパス（内視鏡を作ったり直したりするところ）で働くことです。私のお父さんとお母さんがオリンパスで働いていて、毎日仕事の話をしてくれます。内視鏡は人の命を助けることができる機械だそうです。そんな機械を扱っている会社で働きたいと思いました。お父さんやお母さんと同じ会社で働き、私も人の役に立つ仕事がしたいです。

My favorite Snapshot in SAMEGAWA
みんなの写メがわ

ハッシュタグ
「#まめがわいいとこ」
を付けたインスタグラム投稿写真を紹介します



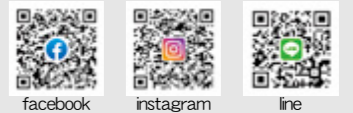
皆さんの素敵な写真を投稿しよう!!

投稿日 2022年4月17日
投稿者 maikyon323

今回は @maikyon323 さんの投稿から紹介します。おじいちゃん、お孫さん、鯉のぼりの3ショット。青空に白い雲、桜も綺麗です。春の楽しさに溢れていますね。

SNSでも情報配信中

村公式アカウントはコチラ



編集後記

■4月は私の誕生日です。5月号が発行されている時には34歳になっていることでしょう…誕生日が嬉しくなくなったのは何歳からでしょうか…笑。最近プライベートでも一眼レフカメラを購入し、休日もカメラ片手に出かけています。何歳になっても新しいことを始めるのは楽しいですね。（菊地）

高齢ドライバー 運転免許返納を考える みんなのでつくる安心

近年、高齢者の運転による交通事故が増えて社会問題になっているのをご存知でしょうか？
歳を取ると、自分では気づかないうちに、安全運転に必要な判断力や、視野が衰えてきます。
今回は3名に集まっていたいただき運転免許の返納や、地域の交通事情について話してもらいました。



高杉タカ子さん
76歳 赤坂東野字大竹

水野春雄さん
75歳 赤坂中野字宿ノ大

斎須寛一さん
76歳 赤坂中野字新宿

「ここ数年、高齢者の運転免許返納が話題になっていますが、みなさんはどうお考えですか？」

水野「池袋の事故もあったし「あ、他人事じゃないよな」って感じました。でも鮫川村は車が無いとどこにも行けなくなっちゃうから、車に代わるものがないとなかなか返納に踏み切れないと思います。自分もそうですが、体が動くぎりぎりまで運転せざるを得ない状況だと思います。

斎須「そう思いますね。体調がよほど悪くなって手足も動かないってな

らない限りは運転すると思う。年齢に関わらず、バスが1日2、3本じゃ車がなくなったら生活が不便でしょうがないですよ。

高杉「それはそうですね。車がないと買い物にも病院にも行きづらくなっちゃうし…同世代の女友だち5人くらいで話した時にも、免許返納の話になりました。そこでは「できるだけ運転できるように元気でいないとね」って話になりましたね。運転するしかないけど、正直、運転に不安な部分はある…だからしっかりと運転できるように、健康に気を使

うことも大切だと思いますよ。
—みなさん返納も考えているけど、その後のことを考えると難しいというのが本音なようです。
地域の公共交通機関についてはどう考えてますか？

水野「採算が取れないからといって公共交通機関が無くなるのは問題ですよね。もちろん財政的なことは重要なんですが…例えば村内に巡回バスがあれば良いなと思います。毎日走らせれば利便性に気づいて乗る人が増えるんじゃないですか。

全国的には増えている？
高齢者の運転免許返納数が過去最多

2019年4月に東京都豊島区東池袋で発生した高齢者が運転する自動車の暴走死傷事故により、高齢者運転に対する意識が高まったことを背景に、運転免許返納が大幅に増加しています。警察庁が2020年3月24日に発表した「運転免許統計(令和元年版)」によると、高齢者の運転免許の自主返納は、着実に進んでおり、前年に比べ約43パーセント増加して、60万1022人と過去最多となりました。その反面、運転免許証を返納する高齢者の数は都道府県によって、格差が広がっていることも明らかになっています。返納数の上位には東京、大阪、神奈川といった大都市を有する都道府県が並んでおり、自家用車を運転しなくとも生活に大きく影響しないことが想像できます。しかし、地方都市や山間部は車が無いと生活を維持できない場合が多いため免許返納が進まない要因となっています。

今回は村内在住の3名に集まっていた、運転免許返納や地域の交通事情について意見交換をしていただきました。まだまだ元気な3名ですが、話してみると様々な考えが出てきました。

高杉「家族と同居していても、若い人は日中働きに出るから、免許がないと出かけられないし、村内には無いですが、確かに巡回バスがあれば乗る人は多いかもしれないですね。買い物やお出かけはストレスの解消とか、生活の質を高めるので必要だと思います。外に出ると体も動かすし健康にも良い影響を与えるのではないのでしょうか。

斎須「タクシーも呼べば来るけど高くつくもんなあ。塙とか棚倉往復で1万円近くは掛かるからやはりハードルは高いですよ。村内でタクシー会社ができないですかね。共同で出資して安く運行できたり…」

水野「現状で公共交通機関だけを使って生活できるかと問われれば「かなり厳しい」としか言えないと思いますね。

高杉「私の知り合いで実際に免許を返納した人がいるんですけども、それまで自由に出かけてたのがいなくなりそれが出来なくなっただいぶ落ち込んでいましたよ。本人は大丈夫と言っても、お子さんや家族は心配ですよ。どちらの気持ちも分かるから利用しやすい交通機関があればいいなあと感じます。

現状、村にある公共交通機関で足りないと感じてる部分が多いようです。そして巡回バスなどを走らせてはどうかとアイデアも出てきました。これから住民はどうしていけば良いか、何か考えはありますか？

高杉「90歳を超えてもしつかり運転してる人も知っています。なので「何歳になったから返納する」ではなくて、一人ひとりの判断が必要だと思います。そしてしつかり安全運転できるように心身共に健康でいられるように、運動や食事に気を配ることが必要じゃないでしょうか。家族や友人と話し合うことも大切だと思います。」

水野「そう思いますね。歳を取るとめんどくさくなりがちで、体を動かすのも億劫になることも増えるんですが。認知症予防と考えると動こうと思います。妻ともいろいろ話したいと思います。」

斎須「やっぱり日々の生活が安全運転にも繋がっているんですよね。そして自分の体の調子を

きちんと自覚することが大切だと思います。若いときのようにはいかないんですから。」

水野「自覚：そうですね。自分の状況をしっかりと把握しないとイケませんね。」

鮫川村に住んでる人、一人ひとりが当事者意識、自分事だと自覚して考えていくことが、交通事情を良くして、村での生活をより良くすることに繋がっていくということ。そして健康づくり。何をすることもまずは体が元気なことが大前提ということですね。本日はありがとうございました。」

今回の意見交換で、高齢者の運転免許返納が実際にはハードルが高いということがわかりました。仮に返納したとしても、自家用車に代わる公共交通に不安を抱えている人が多いということも問題に上がってきました。現在、村の公共交通はどのような状況にあるのでしょうか。身近な村営バス「あおぞら号」を中心に見ていきましょう。



鮫川駐在所 吉田 俊一 巡査部長に聞く!

大きな事故になる前に考えましょう



昨年、県内で発生した交通事故の発生状況をみると、前年に比べ、発生件数、死者数、傷者ともすべて減少して、65歳以上の高齢ドライバーが起す交通事故も減少しました。

しかし、気をつけなければいけないのは、「高齢ドライバーは死亡事故や、重傷事故を起こしやすい」という点です。昨年、県内で発生した交通事故のうち、高齢ドライバーが起こした交通事故の割合は、軽症事故では約26パーセントですが、重傷事故で約30パーセント、死亡事故だと約40パーセントという分析結果が出ています。加齢に伴い身体機能が低下すると、運転操作へのミスへとつながり、重大交通事故を起こす可能性が高まります。ですから、生活や運転をしていて、「視野が狭くなったり部分的に見えづらくなった」「物忘れが多くなった」「体の動きが若いころより鈍くなった」などの特徴がある高齢ドライバーの人は、大きな事故になる前に、運転免許証の返納を考えていただきたいと思います。

鮫川村は山間部に位置していますので、自動車が生活に欠かせないと思いますが、残念ながら、交通事故を起こしてしまってからでは遅いんです。運転免許証を返納すると、運転経歴証明書の交付が受けられます。県内には、飲食店やタクシーの割引など、運転経歴証明書を提示すると受けられるサービスがたくさんあり、福島県や福島県警のホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。また、福島県警では、電話での安全運転相談ダイヤル「#8080（シャープハレバレ）」を設けていますし、棚倉警察署にも安全運転相談窓口を設けていますので、運転に少しでも不安を感じたら、まずは相談してみたいかがでしょうか。

問 棚倉警察署 ☎ 33-0110
鮫川駐在所 ☎ 49-2110

福島県内初の自治体直営運行に踏み切った村の判断

村営バス「あおぞら号」は平成6年から走り始めました。自治体が直営でバスを運行することは、当時福島県内で初めてのことで注目されました。あおぞら号が運行する前は、鮫川村と棚倉町を結ぶ「鮫川線」がジェイアールバス関東により約40年もの間運行されてきました。しかし、年間1,500万円の赤字路線となっていた鮫川線は「廃線」が決まってしまう。利用客は、棚倉の高校に通う村の学生が主であり、区間内の利用客は1日平均30人でした。

村では、通学者の足を奪われるだけではなく、地域間のつながりも多く、地域の住民にとっては欠かせない路線であるとして、ジェイアールバスの貸し切り運行、民間バス会社による代替運行などを検討しました。しかし、村の負担が年間1000万円という多額の経費が掛かることから、民間での運行は断念しました。そこで、村直営での運行ならば、費用が年間750万円まで抑えられると試算し、村直営のバス運行に踏み切りました。

村民の想いも乗せている 「あおぞら号」

自治体直営運行という決断によって生まれた「あおぞら号」。民間バス運行より経費が抑えられるといっても、年間約750万円の支出は行政側だけの判断で決められることではありません。

ジェイアールバスの廃線が決まり、刻一刻と廃線の日が迫る中、村は平成5年8月に住民を交えた沿線地域座談会を開きました。住民からは「高齢者の通院に必要」「バスが走らなくなることは地域の活力が一つ失われるようだ」「利用者が増えれば廃線は無くなるのか」などと廃線への危機感と不安が見てとれる意見が挙がる中、最も多かった意見は「高校生の通学には絶対必要なので何らかの方法で存続させて欲しい」「高校生のことを最優先で考えて欲しい」といった村の子どもたちを想うものでした。

こうした地域住民の、未来を担う子どもたちへの想いが自治体直営運行という決断の後押しをしたのではないのでしょうか。あおぞら号は、人だけではなく多くの人の想いも乗せて走り続けてきました。

利用者の利便性を考え続けて運行してきた村営バスあおぞら号

あおぞら号の運賃は、村内に住所がある70歳以上の人は無料で、各種手帳（身体障害者手帳・療育手帳）の交付を受けている人は8割が減免されています。村内に住所がある中学生を対象に通学定期券購入の半額助成をしていますが。平成28年度からは村内に住所がある高校生に月10,000円、村外から村内の高校に通学する高校生には月9,000円の通学支援金を交付し、より公平に利用者の負担がなるべく増えることがないような運行を続けてきました。

また、運行時刻に関しては、乗り継ぎで利用する水郡線や他のバス会社との接続などを考慮しながら運行時刻の改正を随時行っています。

少子化、修明高等学校鮫川校の廃校により利用者が激減

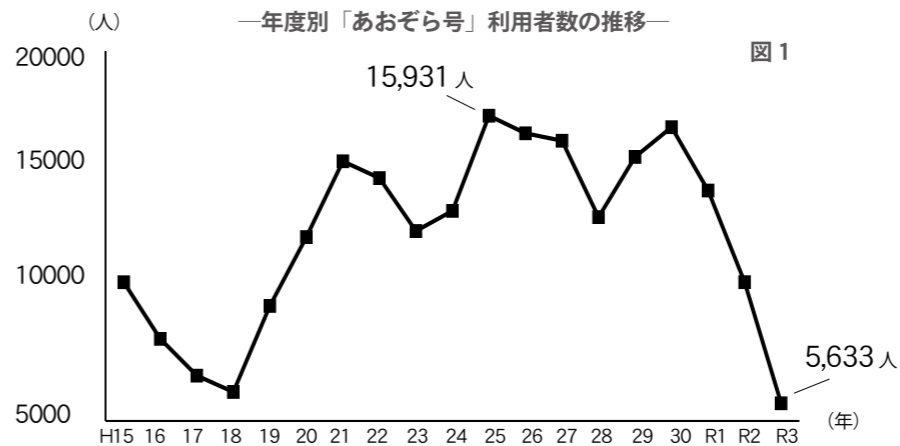
平成6年から走り始めたあおぞら号も今年で28年目を迎えます。利用者数は年によってバラつきがありますが、平成25年度の15,931名（1日平均）

持続可能な公共交通を考える話し合いが始まる

令和4年4月14日に鮫川村地域公共交通協議会（以下、協議会）の令和4年度第1回協議が開かれました。この協議会は協議会委員24名、オブザーバー4名、事務局4名の計32名で構成され、村にとって最適な公共交通のあり方を検討し、計画を作り、新たな交通網を検討するために設置されました。

今回の会議では、村の公共交通の現状と課題点を協議会として共有し、共通認識を作り、地域公共交通計画を作るための方法について話し合われました。地域公共交通計画は村の公共交通を具体的にどのような形にしていくかを定める重要な計画です。専門性が高い計画づくりになるため、会議は今年度中に5回開かれ、住民参加のワークショップも予定されており、地域の生の声を計画に反映させていきます。

今後、村の公共交通をどう計画し、計画を実行していくかは、村全体で考えなければならぬ重要な問題です。持続可能な公共交通を、住民一人ひとりが考える時期が訪れています。



43名）をピークに令和3年度は5,633名（1日平均15名）まで減っています。※図1
運行開始から28年で村の人口も減っており、令和4年3月で閉校した修明高等学校鮫川校（以下、鮫川校）の廃校も、あおぞら号の利用者が減る大きな要因のひとつと考えられます。



鮫川村地域公共交通協議会の様子

地域公共交通協議会の第2回会議が終わり、委員がどのような思いで会議を進めていきたいのか、村の地域交通に対する考えを聞いてみました。

INTERVIEW 坂本大夢さん 修明高等学校3年生【野球部】

通学、部活動には欠かせないバスです

あおぞらバスのことは小さいときから知っていましたが、高校入学を機に初めて乗り、1年生の頃はほぼ毎日利用しました。バスがないと学校にも行けないし、部活にも参加できなかったのも、バスがあって本当に助かりました。車内は友達と話せるコミュニケーションの場、一人の時は自分の時間として使えるので貴重な空間です。後輩たちのためにも走り続けて欲しいと思います。



今後の運行を考える時期に差し掛かっている

現在あおぞら号は、棚倉方面に向かう唯一の路線として、高校生やお年寄りの足として必要不可欠な公共交通機関です。しかし、少子化・鮫川校の廃校などにより利用者が減少している今、今後の運行をどのような形にしていくかを真剣に考える時期に差し掛かっているのではないのでしょうか。

修明高等学校に通う坂本大夢さんに話を聞くと、家族の送り迎えがないときは、バスに乗るしか通学の手段がないため、あおぞら号の運行はとても助かっていると言います。これから高校に通うであろう後輩たちにとっても気がかけ、走り続けて欲しいと真っ直ぐな目で話してくれました。

走り続けて欲しいという声も聞かれる中で、今後も村の公共交通機関を維持していくためにはどうするべきなのでしょう。村では令和3年度より「鮫川村地域公共交通協議会」を発足し、今後の公共交通のあり方を検討し始めています。

◆鮫川村地域公共交通協議会のみなさん【24名】※敬称略

所属	職名	氏名
鮫川村	副村長	鈴木大介
福島交通株式会社石川営業所	所長	藁谷公一
公益社団法人福島県バス協会	専務理事	穴戸紳一郎
一般社団法人福島県タクシー協会	県南支部長	金澤寛二
東北運輸支局福島運輸支局	専門官	佐々木由隆
福島県県南振興局	県民環境部副部長	鈴木真徳
棚倉警察署	地域交通課長	塩田周作
郡山国道事務所	調査課長	荒木洋平
棚倉土木事務所	所長	羽生宏史
私鉄福島交通労働組合棚倉分会	会長	高橋政廣
鮫川運送(株)	代表取締役社長	芳賀篤徳
(株)あんしん	代表取締役社長	森正紀
鮫川村商工会	会長	前田勝之
鮫川村商工会	女性部長	関根由美子
社会福祉協議会	事務局長	鍋木重正
地域包括支援センター	ケアマネージャー	藤元良子
JA 東西しらかわ鮫川支店	支店長	小松文
鮫川村区長会	行政区長	舟木良一
鮫川村老人クラブ連合会	会長	前田三郎
福島県立修明高等学校	校長	鈴木憲治
学校法人石川高等学校	校長	森涼
鮫川たんぼの家	施設長	江尻勝巳
鮫川村連合PTA	会長	木之内彰
鮫川小学校PTA	副会長	須藤知映

協議会委員は「公共交通の活性化及び再生に関する法律（道路運送法）」に基づいて選ばれています。

◆地位公共交通協議会事業計画

年月	事業計画
令和4年4月	第1回地域公共交通協議会 ▶地域公共交通計画の策定について
6月	第2回地域公共交通協議会 ▶公共交通計画に係る住民アンケートの実施
7月	住民ワークショップ
9月	第3回地域公共交通協議会 ▶新たな課題の抽出と施策の検討
11月	第4回地域公共交通協議会 ▶公共交通計画案の検討
令和5年1月	第5回地域公共交通協議会 ▶次年度事業計画

多様化する公共交通—県内各地の事例を紹介します

南相馬市

定額タクシー「みなタク」

自宅とあらかじめ決められた乗降場所との間を定額で移動できるサービスです。
利用料金▶600円または900円
利用時間▶7時~19時

塙町

外出支援タクシー

1枚500円のタクシー利用券を最大36枚交付しています。塙町内のタクシー業者に限って使用することが出来ます。
対象▶80歳以上または70歳以上80歳未満で運転免許を持っていない人。

南会津町

デマンド*バス「こゆりちゃん号」

従来のバス停に加えて仮想バス停を設置し、利用の際は専用アプリまたは電話で予約します。AI(人工知能)が予約状況から最適なルートを導き出し乗降するバス停を走るため、誰も乗っていない状態で運行する状況がなくなり、輸送コストが抑えられます。
利用料金▶200円~(子ども半額)
予約受付▶8時~17時の間

デマンド*タクシー

事前予約制の乗降場所が指定されているタクシーです。自宅前から指定されている場所を選んで利用することが出来ます。運行時間はあらかじめ決められています。利用料金は自宅と指定場所の距離で開きはありますが片道300円~600円の間です。

※「デマンド」ってなに？

デマンド交通とは、バスや電車などのようにあらかじめ決まった時間帯に決まった停留所を回るのではなく、予約を入れて指定された時間に指定された場所へ送迎する交通サービスのことです。規則正しく運行されている公共交通機関と異なり、利用者が自分から連絡する必要があります。デマンド交通によく似た交通サービスにタクシー

があります。タクシーは電話で迎えに来てもらえますが、運行していない地域もあります。バスやタクシーの運行コースから外れてしまった場所に住んでいる人でも利用できるのが、デマンド交通の特徴です。地方自治体の現状にあった公共交通の導入が求められる時代、そのひとつの手段としてデマンド交通があります。

地域公共交通協議会委員のみなさんに協議会への思いを聞きました INTERVIEW

福島交通株式会社石川営業所
所長 藁谷 公一 さん



求心力と魅力がある施設には人は集まります。そういう場所に路線を変更するなど、具体的な検討もこの会議で話し合っていたらなと考えています。なかなか難しいですけどね。

お子さんが減る中で、学生に集客を求めるのは厳しいので、色々なアイデアで打開策を見つけ出せればよいと思います。

地域包括支援センター

ケアマネージャー 藤元 良子 さん



いま免許返納を考えている年配の人の声を良く聞きます。実際に返したという人ともお話ししますが、自由に出歩ける「足」が無くなってしまい、生活の意欲が低下するという悪循環も生まれています。返納を考えることも大切ですが、長く健康で生活できる体作りも密接に関わる大切な問題だと思います。そして今後の公共交通にはさらなる柔軟な対応が期待されていますので、この会議を通じてしっかり話し合いが出来ればと考えています。

鮫川福祉会鮫川たんぽぽの家
施設長 江尻 勝巳 さん



施設利用者がこどもセンターのバス、あおぞら号を使わせていただいております。

もし廃線になっても、いたしかたないのかなと考えています。しかし、福祉としての路線と捉えていただけて存続していただければ、それはとても嬉しいことです。こういう交通事情の話し合いの場が開かれたということは地域にとって必ずプラスになると信じて、より良い交通網が築ければよいと考えています。

村の公共交通の目指す場所とは
村内の公共交通は村営バス「あおぞら号」を始め、福島交通株式会社の路線バス(宝木経由鮫川線、塙・鮫川線)、介護タクシー、スクールバス、診療所バス、こどもセンターバスが走っています。これらは村民の足として大切な移動手段とされています。
しかし、人口減少、修明高等学校鮫川校の廃校、自家用車の普及などにより、公共交通機関の利用者は減り続け、維持が厳しい状態が続いております。また、必ずしも便利とは言い難い村の公共交通機関を、地域や住民にとっても利用しやすく、将来に渡って持続可能な交通体系を再構築することが求められています。
これから5年、10年という近い未来、現在の公共交通体系が破綻する前に考え、計画を立て、実行に移さなければなりません。すぐに答えが出ない難しい問題ではありますが、あらゆる手段、可能性を探りながら、行政、住民、関係機関が協力し合うことで、より良い結果が得られます。まさに今、全員で村の公共交通を考える時が訪れています。

ます。

住民一人ひとりが考える
生き活きと暮らせる村づくり

今回の特集は、高齢者の運転免許返納を考えることから始まり、地域の公共交通が抱える問題に目を向けていきました。
村の公共交通は決して満足のいくものではないのが現状です。しかし地域公共交通協議会が始まるなどして、新たな公共交通計画づくりが動き始めました。一番大切なのは、行政だけではなく、村に住む一人ひとりが地域交通について考え、ずっと安心して暮らせる村をつくるにはどうすれば良いか意見を持つことです。
子どもや高齢者ばかりではなく、村に住むすべての人が、あらゆる生活の場面において、この鮫川村で安心できる暮らしを一緒に作り上げていきたいと思います。

特集

高齢ドライバー運転免許返納を考える
みんなでつくる安心

【終わり】

「5月筋力づくり教室」 体力測定開催

自分の体と向き合いませんか

5月の筋力づくり教室では自分の体の状況に気づき、向き合うきっかけとなるために「体力測定」を実施します。ぜひこの機会に教室に参加して健康への第一歩を踏み出しましょう。

内容

▼握力・上肢の筋力
開眼片足立ち・バランス能力
▼タイムドアップ&ゴー
テスト・機能的移動能力
▼最大歩行速度・移動能力
※体力レベルに関わらずどんな
でも測定いただけます。
▼評価方法 令和4年度末に同
種目の測定を行い、結果の
比較をします。筋力づくり
教室に継続して参加するこ

とで運動の成果を感じるこ
とができます。

対象者 村内在住の65歳以上
で在宅の人

持ち物 タオル、飲み物

感染症対策のお願い 参加当
日の検温、マスクの着用、
送迎バス乗車時・会場での
手指消毒、飲食時などマ
スクを着用していない状態
での会話禁止、ソーシャル

デイスタンスの確保（最低
1メートル）

申込方法 村民福祉課に電
話で申し込んでください。
現在、筋力づくり教室に参
加していない人も参加でき
ます。※すでに筋力づくり
教室に参加している人は申
込みは不要です。

☎ 49-3112
☎ 村民福祉課福祉係



中野区集落センターで開催された筋力づくり教室



地域活性化起業人
たくまる
岩瀬 拓丸さん 32歳（東京都）

今年度の筋力づくり教室も4月よりスタートしました。各地区の集落センターに会場を移したこともあり、参加希望のお問合せを多くいただきありがとうございます。これから農作業など忙しくなる時期ではありますが、日常生活でもお仕事でも毎日健康でいられるよう1回の教室にご参加いただければと思います。また、今後はさまざまな世代向けのシェイプアップや腰痛予防などの企画も予定しております。様々な場所で皆様にお会いできることを楽しみにしております。

◆筋力づくり教室の日程

（全日程：10時～13時予定※昼食含む）

行政区	日程	開催場所
赤坂中野	5月10日 （火）	赤坂中野区 集落センター
渡瀬	5月12日 （木）	渡瀬区集落センター
赤坂東野・石井草	5月17日 （火）	公民館大集会室
西山	5月18日 （水）	西山集落センター
赤坂西野	5月19日 （木）	赤坂西野区民センター
富田	5月24日 （火）	富田集落センター
青生野	5月26日 （木）	青生野集落センター

個人住民税（普通徴収）と固定資産税

令和4年度から 前納報奨金を廃止します

前納報奨金とは？

この制度は、住民税（普通徴収）と固定資産税を納期前に一括して納付した場合に報奨金として交付（実際には差引後の税額を納付）するものです。戦後の混乱した社会情勢と不安定な経済状況の中で、市町村の財政基盤を強化するため、税収の早期確保と納税意識を高めることを目的に、全国の自治体で導入されました。

制度廃止の理由は3つ

①この制度の適用税目は、住民税の普通徴収分と固定資産税に限定され、住民税を給与から天引き（特別徴収）されている人はこの制度を利用できないため、納付者間に不公平が生じている。
②全額一括納付できるだけの資力に余裕がない人にとっては利用しづらい制度であり、納税者間に不公平が生

じている。

③金融機関窓口での納付、口座振替の普及による納期内自主納付が浸透したことにより、当初の目的がおおむね達成されたとして、県内市町村も含めすでに多くの自治体で廃止されている。

これまで、早期納税にご協力いただいたみなさまには、心からお礼を申し上げます。制度廃止へのご理解と引き続きの納付期限内納付にご協力くださいますようお願い申し上げます。

☎ 49-3111

☎ 村民総務課税務係



HOT TOPICS セシウム測定結果

村内で栽培・採取された農作物などの放射性セシウム測定結果を公表します

	R3.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R4.1月	2月	3月	計	
野菜	検査総数	22	44	78	104	52	28	71	60	24	0	20	18	521
	50Bq/kg 以上	検出された検体はありませんでした												
果実	検査総数	0	0	7	7	5	8	7	7	3	1	0	0	45
	50Bq/kg 以上	検出された検体はありませんでした												
山菜・きのこ	検査総数	22	16	2	0	0	0	0	0	0	0	1	4	45
	50Bq/kg 以上	検出された検体はありませんでした												
その他加工食品	検査総数	1	0	4	1	0	1	1	3	7	7	10	5	40
	50Bq/kg 以上	検出された検体はありませんでした												
計		45	60	91	112	57	37	79	70	34	8	31	27	651

結果はあくまでも参考値ですので目安としてご覧ください。引き続き測定を行っていますのでご利用ください。

☎ 村民農工商課 ☎ 49-3113

※放射性セシウムはCs134とCs137の合算値です。
※50Bq/kgは手まめ館で販売できる基準値です。（国基準100Bq/kg）

5歳から11歳のワクチン接種が始まりました 新型コロナウイルスワクチン接種

村の5歳から11歳の子どもを対象にした新型コロナウイルスワクチン接種が始まりました。

書類の送付 接種日時が決まった人から、接種に必要な【接種券】【予診票】を送付します。

日時 月・火・水の14時～16時※接種日時は接種日の約1か月前にお知らせします。

場所 埴厚生病院（小児科医が接種します）

順序 ▼11歳から順に接種していきます。▼保護者の負担軽減を目的に、兄弟がいる場合は同日に接種できるように調整します。

その他 ▼接種には本人の子健康手帳と保険証が必要です。▼病院や関係機関の負担を減らすためにも、当日キャンセルがないようにご協力をお願いします。

※都合が悪くなった場合は、早めに村住民福祉課へご連絡ください。

☎ 村住民福祉課健康係
49-3112



令和5年度 鮫川村職員 採用候補者試験

第1次試験日

7月10日(日)

受付：9時～9時30分

会場：福島大学

募集期間…令和4年5月11日(水)～令和4年6月10日(金)

申込用紙の請求方法…申込用紙は、役場総務課で交付します。郵便で請求する場合は、封筒の表に「資格免許職試験申込用紙請求」と記載し、120円分の切手を貼った自分宛ての返信用封筒(角型2号)を必ず同封してください。

受付期間…8月下旬に役場掲示板に合格者の受験番号を掲示するほか、受験者全員に通知します。また、第1次試験合格者に対して第2次試験の日程を通知します。

申込み方法…詳細については、5月中旬頃の村ホームページに掲載しますのでご覧ください。

☎ 村総務課総務係 49-3111

保健師 (若干名)

▶第1次試験…教養試験(高校卒業程度以上)/専門試験/各種検査(性格特性検査、職場適応性検査)▶第2次試験…個別面接、小論文

保育教諭 (若干名)

▶第1次試験…教養試験(高校卒業程度以上)/専門試験(保育士を主としたもの)/各種検査(性格特性検査、職場適応性検査)▶第2次試験…個別面接、小論文



第26回参議院議員通常選挙 投票立会人を募集しています

村選挙管理委員会では、参議院議員通常選挙の期日前投票と投票当日の立会人を募集します。ぜひ、やってみたいという人は、選挙管理委員会事務局までご連絡ください。お待ちしております。

①期日前投票 6月23日(木) 7月9日(土) 17日間

※1人当たり2～3日程度でお願いする予定です。

時間 8時20分～20時10分
(立会時間は8時30分～20時)

場所 鮫川村役場1階フロア
報酬等 9,500円(源泉所得控除前)

②投票当日 7月10日(日)
時間 6時40分～19時10分
(立会時間は7時～19時)

場所 村内7か所の投票所
報酬等 10,700円(源泉所得控除前)

その他 日程に変更があった場合は、応募した人にお知らせします。

☎ 村選挙管理委員会
49-3111

みなさん 村民との対話の日

村づくりや地域づくりは対話と懇談から。皆さまの意見を村長がお聞きいたします。

次回開催日▼

5月26日(木)

13時30分

～18時30分

場所：村民ホール（役場1階）

新しい農業委員・副区長紹介

◆農業委員



西山区
関根 政信さん(余所内)
任期▼
令和5年7月19日まで

◆副区長



青生野区
長久保誠一さん(赤小名)
任期▼
令和5年3月31日まで

■4月11日付人事異動

【主査相当職】—▶中川西ミュキ教育課主査(兼)さめがわこどもセンター専門栄養士(住民福祉課専門栄養士〔併〕さめがわこどもセンター専門栄養士)

令和4年度新採用職員紹介

①出身②抱負



住民福祉課健康係
武藤貴仁【むとう・たかひと】

①大字赤坂東野字内ヶ竜
②中学生の頃から鮫川村役場で働くことが一つの目標でした。これからは、先輩達の指導のもと、自分の仕事一つ一つに丁寧に取り組み、早く村民の方々のお力になれるよう頑張ります。



村長から認定書を受け取る小松孝次さん

農業を次世代につなぐ

青年等就農計画認定書交付式

3月30日に青年等就農計画認定書交付式が役場村長室で開催されました。これは新規で農業に取り組む49歳以下の村民を対象に補助金を交付する事業で、今回認定書を受け取ったのは小松孝次さんです。認定期間は令和4年3月11日から令和9年3月10日までの5年間で、タマネギやミニトマト、イチゴの栽培に取り組みます。小松さんは「村の農業を盛り上げたい、目標に向かって頑張ります」と少し緊張した表情で話してくれました。

この日を待っていました

溪流釣りが解禁され賑わう

4月1日から鮫川本流・支流で溪流釣りが解禁されました。期間は9月30日まで、遊漁券は1,500円/日、7,000円/年、久慈川共通券は10,000円です。解禁日初日は肌寒い気候でしたが、強滝にはこの日を心待ちにしていた釣り人たちが賑わっていました。水戸から来たという人に話を聞くと「毎年来ています。今日は寒いから食いつきが悪いけど楽しいです」と笑顔で答えてくれました。



水戸から毎年来ているという釣り愛好者の様子

むし歯のない子



3月10日に村保健センターで行った3歳児歯科健診で、むし歯のなかったお子さんは4人でした。
(①保護者②むし歯にならないために頑張ったことなど)



赤坂柚伎さん 渡瀬字中野町

- ①父・敦 母・典子
- ②大泣きしながら仕上げみがきを毎日がんばりました。



菊地乃愛さん 渡瀬字下

- ①父・涼太 母・舞
- ②歯みがきが好きなので毎日一緒に歯を磨いています。最後の仕上げ磨きを特にがんばりました。



蛭田帆奏さん 西山字水口

- ①父・光 母・歩
- ②毎日歯みがきをがんばりました。



白坂昂聖さん 赤坂西野字茅

- ①父・訓 母・綾
- ②夜は手鏡を見ながら歯みがきをがんばりました。仕上げも嫌がらずやっています。



堂々と入場する新入生たち

新しい学校生活

鮫中・鮫小で入学式

入学式は中学校(相馬慶二校長)、小学校(大塚欣之校長)ともに4月6日に行われました。中学校では須藤優空さんが新入生を代表し誓いの言葉を述べました。小学校では21人の児童が入学しました。大塚校長より「一人立ちし、自立できる人になれるよう頑張ってください」と式辞がありました。式を終えた児童たちは教室で真新しい教科書や帽子を保護者と一緒に確認し、新たな学校生活に胸を躍らせている様子でした。



記念品を受け取る新1年生



元気な返事と一緒に手を挙げる様子

元気一杯に「はいっ！」

こどもセンターで入園式

さめがわこどもセンター(小針富子園長)の入園式は村内の桜が咲き始めた4月8日、同センター体育館で行われ、保育部に5人、幼稚部に4人が新たに入園しました。新入園児は小針園長が一人ずつ名前を呼ぶと元気に手を挙げて返事をしました。続いて、幼稚部の園児が歓迎の歌「おおきなあれ」を元気いっぱい披露し、新しいお友達を温かく迎え入れました。

霜にご注意ください

農林商工課内に防霜対策本部を設置しました

水稲や野菜の作付けが始まる時期になり、霜による農作物の被害が発生しやすい時期になりました。村は、4月7日付で農林商工課内に防霜対策本部(本部長・関根村長)を設置。霜注意報が発令された時の周知や、被害が発生した場合の対策を行います。

農作物に被害が発生した場合は、防霜対策本部(☎49-3113)までお知らせください。



看板を設置する村長と農林商工課長

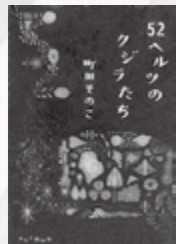
Book

図書の特集

図書館からお勧めの本をご紹介します
鮫川村図書館 ☎ 29-1150

52ヘルツのクジラたち

町田そのこ、中央公論新社



52ヘルツのクジラ。世界で一番孤独と言われている。幼少期から孤独な環境で育った貴瑚と離すことができない少年との出会い。52ヘルツの声を出し続けてきた2人。どうかその声が誰かに届きますように。優しく受け止めてもらえますようにと叫び続けた2人の声とは。

志麻さんのベストおかず

タサン志麻、扶桑社



コロナ禍により家で食べるが増え、食費が以前よりかかっていると感じませんか。メニューを考えるのも大変です。一人当たりほぼ100円で作れるレシピを志麻さんが教えてくれています。「節約」だからと我慢せず、おいしく賢く家計を守るレシピで、食事づくりの時間が少し楽に、楽しくなれる一冊です。



第3土曜日は
家族一緒に読書の日
←新着図書はコチラ

鮫川村水産資源保護協会 会長 鈴木輝司さん（馬場）



釣りをする会長の鈴木輝司さん

村の水産資源を守る

「釣りは昔から好きなんだ」そう笑顔で話すのは鮫川村水産資源保護協会会長の鈴木輝司さん（馬場）です。同協会は組織されて41年目、会員29名で村の水産資源を守る活動を行っています。

「釣り好きの集まりだな。コロナの前は会員同士で1日ばかりで釣りに出かけたりしたもんだ。今年は解禁日に1人で釣りに行ったけど寒くて魚の食いつきが悪かったよ」と笑います。

今年のゴールデンウィークに開催される第23回さめがわふるさと春まつりには2年ぶりに

「ヤマメ釣り天狗好楽会」を開催します。当日はヤマメの成魚を放流して、網でヤマメがいる範囲を区切るため手軽に釣ることができます。「久しぶりの開催だから、たくさんの人に来て欲しいな。子どもたちが楽しそうにしている姿を見るのが楽しみだ」と嬉しそうです。

長年にわたり水産資源を守る活動を続けてこれた原動力を聞くと「やっぱり釣り好きな人を増やしたい。こういうイベントで子どもが釣りを楽しんでくれることが釣り愛好者を増やすんじゃないかな。小さいころに楽しかったことは大人になっても覚えてるもんだ。あとは釣りを通して自然の大切さを学んでほしい。きれいな水で魚は育つ。単純なことかもしれないけど子どもの頃からその大切さを肌で感じて欲しい」と優しい目で話してくれました。鮫川村水産資源保護協会は村の水産資源と自然を守るために活動を行っています。

私は妻と中学3年生の息子と小学6年生の娘の4人で暮らしています。息子は鮫中卓球部で、娘は村外のクラブチームで、それぞれ卓球をしています。私と妻も学生時代から卓球をしているので、子どもたちが卓球に興味を持ち、それぞれ頑張っている姿を見て嬉しく思います。自宅卓球をすることがありますが、その度に子どもたちの成長を感じられることが幸せです。妻には

村民【随想】リレー — (284)

須藤 勝美さん

今と、これから

私の弱点を知られているので勝てないことが多いです。コロナ禍で日常生活が大きく変わり3度目の春を迎えました。しかし、なかなか以前のような日常には戻っていません。子どもたちには学習面や学校行事、練習試合や大会などの中止で辛い思いをさせていますが、今年は昨年以上に子どもたちの活躍の場が増えることを願っています。これからは家族みんなが健康で、子どもたちには卓球以外でもたくさんのおもしろいことに興味を持ち成長してほしいです。次号は、佐藤潤一さん（水口）にバトンタッチ！



すとう・かつみ ●1982年2月生まれ。
趣味 映画・アニメ鑑賞、ゲーム
赤坂西野字名下。40歳。

俳句

さかで落つ乙和椿の庭広し

中井 恒峯

カメラマン角度を変え換え桜撮る

松本 精一

木の芽雨芽茸き屋根の宿場町

渡辺 家造

さくら咲く小さなパン屋城下町

山本 恵子

平凡という幸せや山女魚食む

鈴木 米子

世代越え守る戸津辺の桜かな

斎須 信子

春雨に木々の若芽のにおい立つ

山本五十鈴

短歌

青々と水仙の芽は天を指す蕾育む力を秘めて

鈴木イミ子

青い空ひねもす窓を眺めやる雲が流れて変わる期待に

須藤 幸子

一日も早く終われと祈りおり戦争の惨テレビは伝う

関根キヌ子

穏やかな春の日が差す軒先に今年もツバメ古巣にもどる

赤坂 和子

報道がぐざりと脳につきささる「祈りはいらぬ物資が欲しい」と

藤田智枝子

ちぎれ雲乗せてやりたいコロナ禍を茜の空に夕鳩の声

矢吹 一二

広報さめがわではみなさんの俳句・川柳・短歌などの作品を募集しています。掲載の相談は村総務課広報担当まで。
村総務課企画係
☎ 49-3111

鮫川村役場

(代表・総務課) ☎ 0247-49-3111

FAX 0247-49-2651



災害時対応電話(停電・災害時)

☎ 49-3302・☎ 49-3303

■開庁時間 平日 8時30分～17時15分

住民票や所得証明書などをお求め、業務時間内の来庁が難しい人は、事前に電話をいただければ時間外でも対応が可能です。土日祝日の交付はできませんのでご了承ください。

■鮫川村公式ホームページ

<https://www.vill.samegawa.fukushima.jp/>

■ふるさと納税・寄付 [3月受理分]

※村社会福祉協議会への寄付は除く

・ふるさと納税…30件

ふるさと納税サイトはこちらのQRコードからご確認ください↑



■村教育発展のために…1件

[金員]…修明高等学校鮫川校教育後援会

■地域発展のために…1件

[金員]…森正紀

■今月の納税

・軽自動車税【納期限:5月2日】

・固定資産税第1期【納期限:5月31日】



村の交通事故発生状況(3/1～3/31)

新たな年度が始まりました。人の動きが活発になるため、交通事故の増加が懸念されます。ドライバーは速度を落とし、前後左右の確認を徹底して安全運転に努めましょう。

発生件数 0件(0)

死者数 0人(0)

傷者数 0人(0)

物件事故 17件(+5)

問 柵倉警察署地域交通課

☎ 33-0110



国民年金保険料納付忘れにご注意ください

保険料が納め忘れの状態、障害や死亡といった不慮の事故が発生すると、障害基礎年金や遺族基礎年金を受けられない場合があります。経済的な理由などで国民年金保険料を納付することが困難な場合には、保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「納付猶予制度(50歳未満)」がありますので、お近くの年金事務所又は村住民福祉課住民係で手続きをしてください。

問 村住民福祉課住民係 ☎ 49-3112 / 白河年金事務所 ☎ 0248-27-4161 / 日本年金機構予約相談受付専電話 ☎ 0570-05-4890



東北大会・全国大会出場者に激励金を交付します

村は、東北大会以上の体育大会や文化等の大会に出場する個人および団体に激励金を交付します。

対象となる大会 東北大会以上の体育大会または文化等の大会 ※ただし、フリーエントリーの大会、予選のない大会は対象外です。

対象者 ▶村内の小中学生および村内に住所がある高校生 ▶村内に住所がある人で構成する団体 ▶村内に所在がある団体 ▶保護者の生計の本拠が村内にある村内出身の小中学生および高校生

申請方法 次の提出物を村教育委員会教育課に持参してください。

①出場する大会の要項

②県大会または東北大会の結果

その他 激励金の交付は、年度内1人(1団体)当たり3回までです。

問 村教育委員会教育課生涯学習係

☎ 49-3151



銃砲刀剣類登録審査会

未登録の銃砲刀剣類を発見した場合は登録が必要です。所有者が変わった場合や登録証を紛失した場合なども手続きが必要となりますので、速やかに手続きを行ってください。

開催日程 下表のとおり

開催時間 10時～15時

その他 登録に必要な収入

証紙は、県庁および県の合同庁舎で販売しています

審査日	対象	会場
6月3日(金)	刀	いわき合同庁舎
7月15日(金)	銃/刀	郡山市労働福祉会館
9月12日(月)	刀	会津若松合同庁舎
12月7日(水)	刀	福島市あづま荘
5年2月14日(火)	銃/刀	郡山市労働福祉会館

問 県教育委員会文化財課 ☎ 024-521-7787



有害鳥獣による農作物被害はすぐに連絡してください

村では有害鳥獣による農作物被害防止のため、鮫川村鳥獣被害対策実施隊員を任命し、駆除活動を行なっています。農作物の被害が発生した場合は、村農林商工課までご連絡ください。また、農作物被害を防止するための資材に係る購入費用の一部助成も行っています。

問 村農林商工課林業畜産係 ☎ 49-3113



鳥獣被害対策実施隊長に任命された湯坐好郎さん



地域の環境改善活動に原材料を支給します

村は、村民自らが地域内の生活に密着している道路などを整備することにより、地域の環境改善を図ることを目的としている事業に対して、原材料を支給します。

支給対象 村民で構成する団体や集落

※個人は対象外

対象事業 ①道路整備事業…▶農林業用道路を保全管理するための事業▶生活道の環境改善を目的とした事業※私道は対象外②水路整備事業…▶農業用水路などの改良を目的とした事業③その他集落などの環境整備に必要なもので、公益上有効と認められる事業

支給内容▶生コンクリート…1行政区30立方メートル以内▶砕石…村に在庫がある場合に限る▶U字側溝、ヒューム管などの二次製品…村に在庫がある場合に限る

要望方法 事業の実施を希望する団体などは、行政区長と協議のうえ、原材料支給要望書を区長経由で6月30日(木)までに提出してください。

決定方法 提出された要望書の内容・実態などを調査し、予算または在庫の範囲内で決定します。

その他▶使用機械の手配、路盤材の準備、作業などはすべて団体などが行うことになります。▶令和4年12月中旬までに作業完了することを条件とし、完了後は速やかに完了届を提出していただきます。

問 村地域整備課建設係 ☎ 49-3114



第34回市町村対抗福島駅伝 鮫川村チーム選手募集

募集対象▶村内在住者・村出身者・村内勤務者▶健康で長距離を走れる人▶中学生・高校生・大学生・一般

ぜひ、応募してください。

問 ふくしま駅伝鮫川村実行委員会事務局(村公民館内) ☎ 49-3151

暮らしのカレンダー

Calendar table with dates 1-31, including events like '環境美化の日', '母の日', '歯の健康相談', and '春季大運動会'.

戸籍の窓 ※3月届け出分・敬称略

お誕生 table with columns: 住所氏名, 性, 月日, 保護者. Example: 岫長北條 茉陽 女 2.28 隆弘・千春

おくやみ table with columns: 住所氏名, 月日, 年齢. Example: 余所内 関根 功 男 3.6 83歳

人の動き table with columns: 人口, 男, 女, 世帯. Total population: 3,072 (18 decrease).

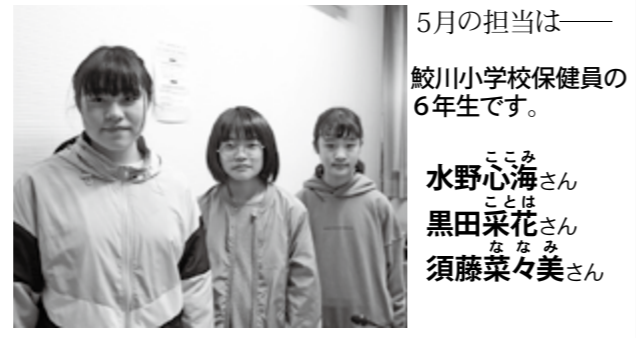
診療所送迎車運行日 ※予約は前日まで

Table of clinic shuttle bus routes by day of the week and area (e.g., 赤坂中野, 赤坂西野).

問 村国保診療所 ☎49-2028

NOTE

毎月8日は歯の日です 防災無線で虫歯予防を呼びかけます



5月の担当は—— 鮫川小学校保健員の6年生です。 水野心海さん, 黒田采花さん, 須藤菜々美さん

- やまゆり乳児室・保育室 [こ]
筋力づくり教室 [保]
あおぞら号昼バス運行日

教育委員会便り — 第1回 —

教育委員会ってどんなところ？

教育委員会事務局は、教育総務係と生涯学習係の2つの係で組織されています。今年度のそれぞれの活動について紹介します。

教育総務係では、『ふるさと鮫川の未来を切り拓いていく人づくり』の教育委員会基本目標の具現に向け、幼小中が連携して、夢と希望をもって学び続ける子どもを育む学校教育の推進に力を注いでいます。特に、今年度は、教職員の更なる指導力向上のため授業研修会を充実させたり、昨年度整備された一人一台のタブレットを有効に活用したりしながら、子ども達の「主体的な学びの実現」に向け、学校を支援していく考えです。また、鮫川村ならではの、鮫川村だからこそできる体験活動の実施に向けて学校を支援し、「ふるさとキャリア教育の充実」に努めていきます。さらに、子ども一人一人の発達と個性に応じた教育が実現できるよう「特別支援教育の充実」にも取り組んで参ります。そして、鮫川村が大好きで、誇りに思い、夢に向かってたゆまぬ努力を続ける子どもを育てていきます。

生涯学習係では、先の基本目標の具現に向け、生涯にわたって楽しく学び、生きがいに満ちた生涯学習が推進できるよう、各種講座の開催や青少年の健全育成、文



令和3年度チャレンジスクールの様子

化・スポーツの振興に努めています。学ぶ喜び、成長する喜びが広がるよう、仲間づくり、村づくりへとつながる各種事業の充実に取り組んでいきます。例年実施している「社会学級」「チャレンジスクール」では、内容を工夫し参加者がより楽しめる講座を準備する予定です。また、新規事業として「健康講座」や「ゴルフ教室」「味噌造り教室」などの成人向け講座を新設します。さらに、鮫川村で歴史的な価値をもつ様々な史跡や名所をまとめた歴史手帳を作成して「さめがわ歴史検定」を実施し、鮫川の魅力を発信する考えです。今年度の生涯学習系のテーマは「新たな挑戦」です。村民の皆様の多数の参加をお待ちしています。

これからも、村民の皆様から信頼される教育行政を推進していきますので、何卒よろしくお祈りします。

女性の人権を考える

今なお、男女の役割を固定的にとらえる意識が社会に根強く残っており、このことが家庭や職場においてさまざまな男女間の差別を生む原因になっています。配偶者からの暴力、性犯罪、性暴力、職場におけるセクシャルハラスメントやマタニティハラスメントなどの妊娠、出産を理由とする不利益な取り扱いの問題も、多く発生しています。こうした女性の問題に対して、平成28年4月「女性の職業生活

における活躍の推進に関する法律」が施行され、令和元年にはその改正法が成立するなど、女性はその希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍出来る環境を整備するための取り組みが進められています。法務省の人権擁護機関では「女性の人権ホットライン 0570-070-810」を設置し、暴力や各種ハラスメント、ストーカー行為、アダルトビデオ出演強要問題、JKビジネス、といった女性をめぐるさまざまな人権問題に関する相談に応じています。

問 福島地方裁判所白河支局 ☎0248-22-1201